



2021年2月12日

各位

会社名 株式会社 リボミック  
代表者名 代表取締役社長 中村 義一  
(コード番号: 4591 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員 管理部長 米林 渉司  
TEL. 03-3440-3745

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新型コロナウイルス感染症に伴う影響、及び最近の業績動向を踏まえ、2020年5月14日に公表いたしました、2021年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(百万円未満切り捨て)

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	118	△1,561	△1,484	△1,485	△57.77
今回修正予想 (B)	91	△1,274	△1,216	△1,218	△47.39
増減額 (B - A)	△27	286	267	266	
増減率 (%)	△22.73	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	121	△914	△853	△855	△53.62

#### 2. 修正の理由

当社は、2021年3月期における業績の改善を図るため、事業開発活動の推進に努めてまいりました。

この結果、2021年2月8日公表の「リボミックとあすか製薬の共同研究に関する共同研究開発契約締結のお知らせ」のとおり新規共同研究契約を締結するにいたりました。

しかしながら、世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延により、提携候補先の事業開発活動が一時中断される等の影響から、当社が計画しておりました事業提携に遅延が生じております。

このため、当期の事業収益が前回発表の予想値を下回る見込みとなりました。

一方費用面につきましては、RBM-007による加齢黄斑変性症を対象とした第2相臨床試験を米国で実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の蔓延等の影響により、被験者登録が当初の計画に比べ遅延が生じており、これらの臨床試験に要する一部費用等の発生時期が翌期にずれ込む見込みとなりました。

ただし、先日の開示に記載いたしましたように、この第2相臨床試験の完了目標時期は予定通り2021年12月としております。

これらの影響を加味し、2021年3月期通期業績予想値をそれぞれ営業損失1,274百万円、経常損失1,216百万円、当期純損失1,218百万円に修正いたします。

当社は、引き続きRBM-007(抗FGF2アプタマー)の臨床試験に力を注ぐとともに、事業開発並びに事業の効率化を推進してまいります。

注) 本資料に記載した当社の業績予想値に関しては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以上